

2021（令和3）年度 第5回祭り実行委員会 議事録

開催日時：令和4年3月6日(日) 14:00~15:00

開催場所：中中村集会所

出席者：まつり実行委員（幹事）：

(上)安齋(委員長)、小峰、(中)大宅、(下)安達、足立原、菅沼(御輿連)

町会五役：

宮崎(会長)、岡田(副会長)、佐藤(会計)、山浦(上)、春山(中)、鈴木(下)、國本(庶務)

：敬称略

司会：宮崎町内会長

記録：庶務 國本

○コロナ・オミクロン株の感染拡大状況から参加者を限定して開催した。

1、実行委員長挨拶

来年度の役員に引き継ぐために、どのように実現できるのか議論したいと思います。

活発な発言をお願いします。

2、議題

「来年度のみこし祭り、盆踊り大会の開催の在り方について」 - どのような形で実施できるか -

(1) みこし祭り

・みこし巡行

- この先の感染状況の見通しが見えない。今と同じ状況であれば通常の開催は難しい。
出来るとすれば、35周年の記念事業のやり方、トラックに御輿を乗せて町内巡行したらどうか。
- 制限がなくなったとしても、密集して担ぐことができないのではないか。
- 祭りの目的は、誰の為にという視点の再確認が必要ではないか。
- 常に中心で活躍して頂いているが、その方々の意欲が低下してしまわないよう何かすべき。
- ノウハウの伝承も必要。規模は縮小しても何らかの形で実施すべき。
- 4月下旬に状況を見て、どうするか意思決定したらどうか。
- 巡行は場所を限定して軽トラで廻っていけばいいのではないか。
- 次年度は中村御輿の40周年記念の年なので、そのことも考慮に入れておいてほしい。

(2) 盆踊り大会

・踊り

- やぐらも整備の為に一度組み立てる必要がある。

組み立て方の伝承の必要性。

・出店

- お子さんたちを中心に出店の要素は楽しみの大きな要素なので、食べ物は難しくても、おもちゃ販売等あれば楽しみがある。

(3) その他

・運営形式

- 青年、子どもの参加の検討。 → 次回委員会で子供会なども交えて検討。

- 委員会

今年度（R3）および、前年度（R2）の委員長には、次年度も委員としてご協力いただきたい。

・資金面

- ご厚志をどうやって集めるかが課題。
- お祭りの資金源が皆さんのご厚志で成り立っていることの伝え方の検討が必要。
- 町内会としての準備金は5万だが、増額の必要性があるのでは。
 - 今年度から、準備金の5万は、事業完了後に町内会へ返戻していたが、今年度からは返戻せずに、余剰分をまつり実行委員会の次年度に繰り越すようにしている。
- クラウドファンディング等も考えてみたら。

・その他の項目

- やるやらないの判断基準の考察。
 - A：緊急事態宣言ならやらない
 - B：蔓延防止期間なら出来ることをやる
 - C：解除なら実施する（ガイドラインに従って）
- 4月の委員会の時点で状況確認し詳細を決定してはどうか。
委員の皆さんはそれまでに具体的な案を考えておく。
- 参加は基本的に自己責任。しかし、運営する側の人の協力がどれだけ得られるか。
運営に必要な人員の確保が課題。（どれだけの人が必要なのかの確認も必要）
 - 班長さんの参加の事なども考慮すべき。
- 所轄の警察等の確認も必要。
- 実施するにあたり、都、市のガイドラインを参考にする必要がある。
（参考）東京都 新型コロナウイルス感染症対策の基本方針
<https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1009757/index.html>

（4）来年度スケジュール

- ・次年度の第一回目の委員会を4月24日（日）14：00から開催する。
この委員会で詳細を決定。委員各位は、それまでに具体的な案を考えておく。
子供会などにも参加要請する。

3、町内会長あいさつ

4月の一回目の委員会では具体的な計画を立てたい。新たな形も考えてより良いイベントが実施できればと思います。皆様のアイデアよろしくお願いします。
よろしくお願いします。

以上